11月

令和8年度東京中央卸売市場青果物市況見通し

令和8年10月29日(木)作成

JA全農さいたま園芸販売課　大田市場駐在

品　目	本年入荷見込み		本年予想価格		前年出回り主力産地			摘　要
	前年入荷比	平年入荷比	本年見通し価格	平年価格比				
	（前年入荷）	平年入荷	（前年価格）	平年価格				
だいこん	91%	87%	150 円	185%	千 葉	神奈川	青 森	千葉産主力に神奈川産の加わる入荷となろう。千葉産は、降雨が続いた影響により、9月は播種作業が進まず、播種ができた圃場についても長雨や日照不足の影響から生育の遅れや湿害が発生している。湿害の影響で、亀裂褐変症等の肌の障害等の発生率が高くなる見込み。出荷量は、前年をやや下回り、平年を下回る見込み。神奈川産は、9月上旬からの降雨、日照不足と台風25号の影響により、生育が不良となっている。加えて、圃場の排水不良や細菌病発生による生育障害、品質の低下を見込む。出荷量は前年・平年を下回る見通し。総入荷量は前年比91%で前年・平年を下回り、価格は150円/kgと前年・平年を大幅に上回る見込み。
	（ 10,303 トン）	10,762 トン	（95 円）	81円	58.1%	22.6%	7.7%	
にんじん	94%	71%	150 円	103%	千 葉	北海道	青 森	上旬は北海道産が主力となり、中旬以降は千葉産主力に埼玉産が加わる入荷となろう。北海道産は、各主産地で正品歩留まりが高く、直近の出荷は順調に推移している。今後は10月末～11月第1週目にかけて各産地の選果が終了するため、出荷も漸減する見込み。出荷量は前年並みで、平年を下回る見込み。千葉産は、度重なる降雨や台風の影響による日照不足や管理作業の遅れから、まき直しや生育遅延、根部障害が発生した。生育も遅れており小玉傾向となる見込みで、出始めの入荷量は不安定と考えられる。出荷量は前年・平年を下回る見込み。総入荷量は前年比94%で前年をやや下回り、平年を大幅に下回る見込み。価格は150円/kgと前年を下回るものの、平年をやや上回る見通し。
	（ 5,124 トン）	6,785 トン	（204 円）	145円	46.4%	28.7%	11.7%	
キャベツ	85%	78%	150 円	142%	千 葉	愛 知	茨 城	千葉産主力に茨城産、中旬以降は愛知産が加わる見込み。千葉産は、長雨や日照不足の影響で定植の遅れや病害の発生がみられ、生育遅延から小玉傾向となるため、出荷量は前年・平年を下回る見込み。愛知産も、9月の長雨や日照不足による生育不良から2月頃までは出荷減少が予想される。総入荷量は前年比85%と前年・平年を下回る見込みで、価格は150円/kgと前年・平年を大幅に上回る見込み。
	（ 12,372 トン）	13,414 トン	（92 円）	106円	43.0%	20.0%	18.0%	
ほうれん草	94%	83%	530 円	114%	群 馬	茨 城	栃 木	群馬産主力に茨城産が加わる出回りとなろう。群馬産は、長雨の影響による播種遅れや軟弱徒長、一部で炭疽病やホウレンソウケナガコナダニの発生が見られ、出荷量は前年を下回る見込み。茨城産も、台風や長雨の影響で播種遅れや圃場の浸水が発生し、生育は不安定。一部で病害による品質低下が見られるが、10月以降は改善傾向にある。出荷量は回復しつつあるものの、全体では前年・平年を下回る見込み。総入荷量は前年比94%で前年をやや下回り、平年を下回る見込み。価格は530円/kgと前年を下回り、平年を上回る見込み。
	（ 1,485 トン）	1,692 トン	（585 円）	464円	56.8%	27.5%	6.3%	
ね　ぎ	102%	97%	370 円	105%	秋 田	青 森	北海道	前半は秋田・青森・北海道産中心に、後半は茨城・埼玉産も加わる出回りとなろう。秋田産は、高温・乾燥の影響があったものの、その後の降雨で生育は回復し順調。青森産も生育は順調で、両産地とも出荷量は前年・平年を上回る見込み。茨城産は、長雨や台風の影響で一部に生育遅れが見られる。病害の発生はあるが影響は限定的。肥大不足や倒伏などから作柄は並みからやや不良で、出荷量は前年・平年を下回る見込み。総入荷量は前年比102%で前年をやや上回るものの、平年をやや下回る見込み。価格は370円／kgで前年を下回るが、平年をやや上回る見込み。
	（ 4,662 トン）	4,913 トン	（401 円）	351円	21.3%	15.4%	10.4%	
ブロッコリー	101%	80%	600 円	152%	埼 玉	香 川	熊 本	上旬は北海道・埼玉産中心、中旬以降は埼玉産主力に長崎・熊本・愛知・香川産が加わる入荷となろう。埼玉産は、多くの圃場で長雨による生育および定植の遅れが見られ、葉の黄化や欠株等の発生が確認されている。今後は根傷みに起因するさらなる生育不良が懸念される。出荷量は前年を下回り、平年を下回る見込み。熊本産は、定植の遅れは見られるものの、生育は概ね良好。ヨトウ類の発生が散見される。出荷量は前年並みとなるものの、平年を大幅に下回る見込み。総入荷量は前年比101%と前年並みだが、平年を大幅に下回る見込み。価格は600円/kgで、前年を上回り、平年を大幅に上回る見込み。
	（ 2,553 トン）	3,218 トン	（517 円）	396円	23.7%	13.1%	12.3%	
きゅうり	96%	77%	530 円	126%	宮 崎	埼 玉	群 馬	前半は埼玉・群馬産中心、後半以降は宮崎産中心の入荷となろう。埼玉産は、日照不足の影響で樹勢は強くなく、側枝の伸長が遅れている。また、低温多湿の影響でべと病やつる枯病が多く見られる。一部圃場では、コナジラミ類や退緑黄化病の発生が見られる。出荷量は少なかった前年をやや下回り、平年を大幅に下回る見込み。宮崎産は、生育は概ね順調だが、コナジラミやホコリダニの発生が散見される。出荷量はやや少なかった前年をやや下回り、平年を下回る見込み。総入荷量は前年比96%で前年をやや下回るが、平年を大幅に下回る見込み。価格は530円/kgと前年を下回るが、平年を大幅に上回る見込み。
	（ 3,439 トン）	4,293 トン	（576 円）	421円	27.7%	22.4%	20.2%	
さといも	99%	82%	315 円	105%	埼 玉	愛 媛	千 葉	埼玉産主力に愛媛産が加わる入荷となろう。埼玉産は、生育期間中に十分な降水量があったため、生育は良好。圃場の乾燥が進まず、収穫が遅れている。出荷量は少なかった前年並みで、平年を大幅に下回る見込み。愛媛産は、平年通り9月中旬より地上部が倒伏し始めた。芋の大きさ、形ともに良好で秀品が多い。出荷量は多かった前年をやや上回り、平年をかなり上回る見込み。総入荷量は前年比99%で前年並みで、平年を下回る見込み。価格は315円/kgと前年を下回るが、平年をやや上回る見込み。
	（ 712 トン）	861 トン	（378 円）	299円	63.4%	16.0%	5.8%	
いちご	100%	70%	2,450 円	107%	栃 木	茨 城	静 岡	栃木産主力に茨城・静岡・福岡産が加わる入荷となろう。栃木産は、雨の影響でばらつきはあるが、9月中にほとんどの定植が終了した。前年より花芽分化は早いものの、9月の長雨・日照不足により、定植後の株の充実不足が見られる。病害虫では、ハダニ、うどん粉病、ヨトウムシが散見されるが、被害は前年より少ない。10月5日に初出荷となり、県北地区を除き、10月中にはとちあいかが出揃う見込み。11月中下旬にかけて1回目のピークを見込む。出荷量は前年並みで、平年を下回る見通し。総入荷量は前年比100%で前年並みだが、平年を大幅に下回る見込み。価格は2,450円/kgと前年をやや下回り、平年を上回る見込み。
	（ 425 トン）	604 トン	（2,584 円）	2,287円	80.3%	9.1%	4.7%	